

一般心理学編 第2部

全13巻

監修●東京大学教授東

洋/筑波大学教授金子隆芳・原野広太郎

■時間:第1巻・第3巻～13巻 16分/第2巻 13分

1 行動観察法

〈指導〉北海道大学 三宅和夫

●カラー

行動観察の方法には、大別して自然的観察と統制的観察があるが、これらのそれぞれについて具体的に示すために母子関係を例にとって、それぞれの方法を用いる場合に、どのような場面設定の下で観察者がどのように振舞うかを考察する。また観察記録はどんな方法でとられるか、特に最近ではVTRを用いることが多いので、その録画の方法についても述べ、それによる観察記録の分析方法、コーディングや評価などについても解説する。

2 心理と生理

〈指導〉岩原信九郎

●カラー

精神活動の根底には生理的現象が仮定されている。それゆえ心理過程の解明と予言には、神経生理的、神経化学的分析が必要となるであろう。心理現象と対応する生理過程について5つの実験を行った。情動の分野ではキャノンバード説、賦活説。学習と記憶の分野では二過程説。動因、強化では脳幹網様体賦説、脳内自己刺激説。この作品は以上の問題を取りあげ、映像化を試みたものである。

3 条件づけ

〈指導〉関西学院大学 新浜邦夫

●カラー

条件反応とは何かを理解させるために二つの分野の典型的な実験を例示し、その差異性と共通性を考慮する。第一部の古典的条件づけでは人間を被験体とし、皮膚電気反応と眼瞼反射を用いて条件づけの基本図式である強化と消去の実験等を行なう。第二部のオペラント条件づけではマウスを用い、スキナー箱による強化と消去、部分強化や回避箱を用いた回避条件反応の形式、その他強化と弁別等の最も基礎的な問題を展開する。

4 初期行動

〈指導〉お茶の水女子大学 浅見千鶴子

●カラー

鳥類や哺乳類などの高等な動物の子どもは幼弱であり、親の保護なしでは生きてゆけない。そのため、特に幼時期初期には独特の行動パターンを示すものが多い。これを初期行動と呼ぶ。この作品はヒトその他の動物の幼児を観察し、追従行動、親を呼ぶ行動、人見知り、愛着行動、そのほか餌をねだる、甘えるなどの行動、幼さから来る未熟な行動などの初期行動の典型的な諸相を考察するものである。

5 知覚の成立

〈指導〉 筑波大学 金子隆芳

●カラー

この作品は、映像の特性を活かし、カメラや被写体の運動を通して知覚成立の要素が運動に依存するケースを例示する。回転体とその影絵における奥行感覚の発生およびその反転現象、回転円盤上に描かれた平面図形の立体化現象、運動視差による奥行知覚、またカラー分解による同時的両眼視差の例としてプリフリット現象などをゲシュタルト心理学および確率論的技能主義の立場から考察して、知覚の一般的本質を解明していく。

6 運動の知覚

〈指導〉 慶応義塾大学

吉田俊郎
鷺見成正

●カラー

人間が知覚する運動には、現実のものと見せかけのものとがある。この作品では現実の運動をする物体(a)速さが条件により、どう変って知覚されるか(b)どのような軌跡を描いて知覚されるか等の問題を取りあげ、運動領域、枠組との関係、対象の現象的同一性、因果関係の知覚などを通じて解明する。また見せかけの運動の種類や原因を β 運動の原理と応用、誘導運動の条件、運動残像による Water fall illusion や spiral after effect等を通じて考察していくものである。

7 記憶の実験

〈指導〉 慶応義塾大学 印東太郎

●カラー

この作品は講義に代わるものではなく、それを補うために次のような視覚的材料を提供するものである。言語などの長期記憶、メモするまで一時的に覚えておくような短期記憶、必要な情報を瞬間に取りだす検索機能、ピアノ演奏のような筋肉的記憶などに関する実験の状況と結果のデータ。また記憶が日常生活に果たす役割、図形認知や概念形成との関連、人間の記憶とコンピュータの記憶と比較、動物の記憶を示す諸事例などである。

8 概念学習と問題解決

〈指導〉 京都大学 梅本堯夫
奈良女子大学 清水御代明

●カラー

ダンカーの用いた2本の紐を結びあわせる。問題解決課題では一つの物のカテゴリー化の多様性を考えさせ、逆に多くの物を一つのカテゴリーにまとめる例をあげて概念とは何かを説明、またその概念を固定する実験を紹介する。トランプや積木の属性と次元を説明し、見る者にも問題を与えて考えさせる。そのストラテジーの種々を外言思考で実験し、概念の合接や離接も図式により説明する。ウエルセイマーの平行四辺形の面積を求める問題で問題解決の要因を押え、最後に拡散的または収束的思考の例をあげる。

9 イメージと言語

〈指導〉 東京大学 東 洋

●カラー

最近、イメージが思考や記憶を助けたり、あるいはそれに影響を与えるという事実が色々と見出されている。この作品は特に「TADIO」らの研究の系列にそいながら、その機制をしめすことを目的とする。

10 フラストレーション

〈指導〉同志社大学 松山義則
浜 治世

●カラー

この作品は、以下の四つの項目に実験場面を挿入し、解説を加えたものである。

1. フラストレーションの様相 (1)幼児 (2)青年 (3)社会
2. フラストレーションの型 (1)攻撃 (2)退行 (3)固定
3. コンフリクトの型 接近—接近、回避—回避、接近—回避、二重接近—回避
4. フラストレーション、トランスと防御示機制。

11 態度の変容

〈指導〉佐賀大学 原岡一馬

●カラー

社会生活では、一般に信念、評価、感情、行為傾向などが持続するので他者の行動や意見を予測する事ができる。しかし今日の社会はあらゆる面で急変しつつある。この作品では社会心理学の中心課題のひとつである社会的態度がどのような要因によってどう変化するかを知るため、基本的な考え方を紹介する。また具体的な実験や現場研究を通してコミュニケーションと態度変容を中心に態度構造と態度変化、積極的参加と態度変化、集団と態度変化などについて解説を加える。

12 行動療法

〈指導〉筑波大学 原野広太郎

●カラー

行動療法は学習理論を応用した心理療法である。様々な技法があり、対象、症状により使われている。この作品は主な技法の理論的解説とともに、実際のプロセスを例示したものである。例1. 書痙に対する系統的脱感作の適用 例2. 発達遅滞児に対する報酬学習の適用 例3. 蛇恐怖症に対するモデリングの適用 例4. バイオ・フィードバックと自己コントロールのプロセスなどである。

13 カウンセリング

〈指導〉東京理科大学 国分康孝

●カラー

(1)カウンセリングは問題児治療のためだけのものではない。正常者が更に成長するのにも役立つ体験学習である。(2)カウンセリングはカウンセラーだけの専門知識ではない。一般人でも人間関係の展開にその発想を活用できるものである。以上の二つを理解してもらうために(A)カウンセリングの基本的原則(B)カウンセリングの基礎技術に焦点を合わせて、折衷的立場からカウンセリングとはどんなものかを例示しながら描いたものである。

・お問合せ・お申込みは

(映) 有限会社 博映商事

TEL 092-741-0306 FAX 092-741-6628

〒810-0073 福岡市中央区舞鶴1-3-31-220

【HP】 <http://hakuei-shoji.jp> 【E-Mail】 info@hakuei-shoji.jp